KANSAI かんさい ウオーク 2016

第1回大会 大阪市内エリア

「真田丸　真田ゆかりの
激戦地をめぐる！」

コースマップ

スペシャルコース（約17km）

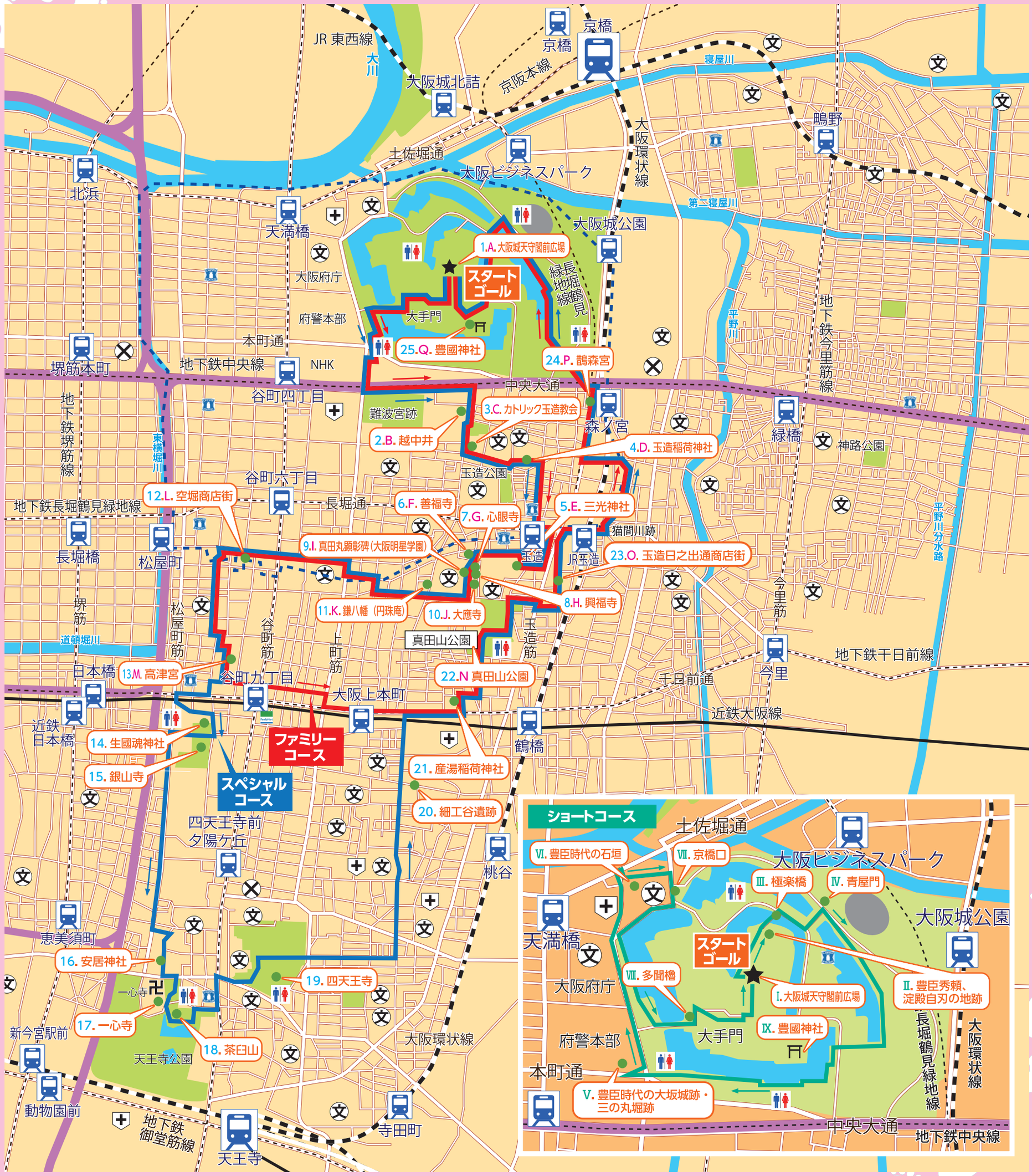
1.大阪城天守閣前広場▶2.越中井▶3.カトリック玉造教会▶4.玉造稲荷神社▶5.三光神社▶6.善福寺▶7.心眼寺▶8.興徳寺▶9.真田丸顕彰碑（大阪明星学園）▶10.大應寺▶11.鎌八幡（円珠庵）▶12.空堀商店街▶13.高津宮▶14.生國魂神社▶15.銀山寺▶16.安居神社▶17.一心寺▶18.茶臼山▶19.四天王寺▶20.細工谷遺跡▶21.産湯稲荷神社▶22.真田山公園▶23.玉造日之出通商店街▶24.鵲森宮▶25.豊國神社▶1.大阪城天守閣前広場

ファミリーコース（約9km）

A.大阪城天守閣前広場▶B.越中井▶C.カトリック玉造教会▶D.玉造稲荷神社▶E.三光神社▶F.善福寺▶G.心眼寺▶H.興徳寺▶I.真田丸顕彰碑（大阪明星学園）▶J.大應寺▶K.鎌八幡（円珠庵）▶L.空堀商店街▶M.高津宮▶N.真田山公園▶O.玉造日之出通商店街▶P.鵲森宮▶Q.豊國神社▶A.大阪城天守閣前広場

ショートコース（約5km）

Ⅰ.大阪城天守閣前広場▶Ⅱ.豊臣秀頼、淀殿自刃の地跡▶Ⅲ.極楽橋▶Ⅳ.青屋門▶Ⅴ.豊臣時代の大坂城跡・三の丸堀跡▶Ⅵ.豊臣時代の石垣▶Ⅶ.京橋口▶Ⅷ.多聞櫓▶Ⅸ.豊國神社▶Ⅰ.大阪城天守閣前広場



スペシャルコース ▶ ファミリーコース ▶ ショートコース

豊臣期大坂城惣構

全コースとも、午後1時から午後4時までにゴールしてください。
KANSAIウオークパスポートにチェックを受けてください。

大会の途中で棄権したり、救護を要するときは…

大会本部（Central Site）・救護 (First Aid)
TEL/06-6944-9036
※この電話は、大会当日のみ有効です。

主催 産經新聞社　特別協賛 ライオン株式会社　協賛 スーパースポーツゼビオ　後援 大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会、（公財）大阪観光局、大阪商工会議所、近畿日本鉄道㈱　協力 大阪ウオーキング連合　企画運営 ムーヴエンタテインメント

大阪市内エリア

真田丸　真田ゆかりの激戦地をめぐる!

コースの見所

1.A.I. 大阪城天守閣



天正11年(1583)、織田信長の後継者としての地位を確立した豊臣秀吉が大坂に壮大な居城を構築した。秀吉亡き後、慶長20年(1615)5月8日大坂夏の陣で落城。現在の天守閣は3代目で昭和6年(1934)大阪市民の寄付により再築された。※完歩された方は完歩証を提示すると入館料600円が500円に割引されます。(6/18限り、入館は16時30分まで)

2.B. 越中井



細川忠興邸台所の井戸であったと言い伝えをもつ。忠興の妻ガラシャはこの地で殉教し、その壮絶な最期は慶長5年(1600)関ヶ原合戦で徳川方に勝機を与えたとも言われる。

3.C. カトリック玉造教会



細川忠興の屋敷跡の建てられたカトリック教会。正式名称は大阪カテドラル聖マリア大聖堂。創立は明治27年(1894)。大阪大空襲により消滅。昭和38年(1963)に細川ガラシャが暮らした由縁でこの地に落成した。表に細川ガラシャ、キリシタン大名として名高い高山右近の像が立つ。

4.D. 玉造稲荷神社



豊臣大坂城の三の丸に位置し、その鎮守社として豊臣家から篤い崇敬を受けた。境内には豊臣秀頼が社殿を復興した際の慶長8年(1603)吉日銘の石鳥居や秀頼公の銅像が建つ。また付近には千利休や前田利家、宇喜多秀家など多くの大名屋敷が存在した。

5.E. 三光神社



真田山に鎮座し昔は姫山神社と称したが、全国的には真田山の三光の名称の方がよく知られ今では三光神社となった。大坂冬の陣に際して、真田幸村が掘らせたとの伝説が残る真田の抜穴があり、幸村の銅像が建っている。

6.F. 善福寺



高野山真言宗の寺院で大坂夏の陣の戦死者を弔う為に創建された。「どんどろ大師」の名で知られる。真田幸村が築いた真田丸の北側に位置する。

7.G. 心眼寺



真田丸の北東に位置し、元和8年(1622)真田幸村、大助父子の冥福を祈るために創建された。当時の大坂は徳川幕府の直轄地で豊臣方武将である幸村大助父子の墓を建立する事は許されなかったが、400年である昨年10月ようやく建立された。

8.H. 興徳寺



聖徳太子在世中に現在の法円坂付近に「薬師院」として創建と伝わる。大坂夏の陣の後、松平忠明が現在の大阪市内に分散していた寺院を小橋村、高津村、天満村の3か所に集めた時、小橋の現在地に「興徳寺」と寺号を改めて再建された。

9.I. 真田丸顕彰碑(大阪明星学園)



大阪明星学園のある辺りは大坂冬の陣で築かれ、最大の激戦地となり豊臣方が勝利した大坂城の出城「真田丸」のあったと地とされる。平成28年(2016)2月1日、顕彰碑の除幕式が行われた。

10.J. 大應寺



真田丸の東に位置する。寛永元年(1624)創建。昭和20年(1945)大阪大空襲で焼失するが戦後再建される。

11.K. 鎌八幡（円珠庵）



大坂冬の陣の際、真田幸村が当時信仰を集めていた御神木に鎌を打ち込み、必勝を祈願したところ、大いに戦勝をあげたと伝承される。
※境内での写真撮影録画は出来ません。

12.L. 空堀商店街



豊臣大坂城は段階的に増築され、文禄3年(1594)最終的には周囲をぐるりと1辺2キロにも及ぶ惣構え堀が備わった。南側の惣堀は水の入らぬ東西2キロの空堀で、空堀商店街は南惣堀の北堤にあたる。

13.M. 高津宮



仁徳天皇を王神と仰ぐ神社で貞観8年(866)勅命(天皇の命令)によって旧都の遺跡を探索して社地を定め社殿を築いてお祭りしたのを創始とされる。天正11年(1583)豊臣秀吉が大坂城の築城に際し現在地に御遷座(神社の御神体が移ること)になり今日に及ぶ。

14. 生國魂神社



かつては大坂城の地に鎮座していたが天正8年(1580)の石山合戦の時に焼失。、天正11年(1583)豊臣秀吉が大阪城を築く際、現在の地に移転された。大坂冬の陣では伊達政宗が生國魂神社付近に陣を敷いたが戦闘に至らなかったとされる。

15. 銀山寺



天正19年(1591)豊臣秀吉の城下町建設の一環である寺町建設の中で現在地に創建され、当時の寺号は大福寺といったが、後に豊臣秀吉の命により寶樹山(ほうじゅざん)銀山寺と改称された。秀吉の画像、朱印状などが伝わる(大阪城にて保存)。境内には築420年と伝わる建物が存在する。(中がご覧になれます)

16. 安居神社



大坂夏の陣で徳川方に討たれ戦死した真田幸村終焉の地として、境内には「真田幸村戦死跡碑」と幸村の銅像ある。幸村は境内の松の木に寄りかかり休息しているところを松平忠直の家臣　西尾宋次に討ち取られたと伝わる。

17. 一心寺



大坂夏の陣で壮絶な討死を遂げた徳川方大名本多忠朝の墓がある。江戸時代には大坂の陣での戦没者供養がたびたび営まれた。豊臣大坂城の玉造門を移設した「黒門」と呼ばれた大きな山門も有名であったが、大阪大空襲ですべて焼失した。茶臼山に隣接し徳川家康が大坂冬の陣の際、本陣がおかれた。

18. 茶臼山



四天王寺の南西に立つ茶臼山は、5世紀ごろの前方後円形古墳であるという説がなされている。大坂冬の陣では徳川家康の本陣で、大坂夏の陣では真田幸村の本陣となり「茶臼山の戦い」の舞台になった。共に城郭が存在したと言われている。

19. 四天王寺



聖徳太子が推古天皇元年(593)に建立、日本仏教の最初の寺として全仏教の総本山とされる。大坂夏の陣では「天王寺口の戦い」の舞台になり、大坂城の五人衆と称された毛利勝永が布陣した。たび重なる戦火や災害に見舞われ、多くが焼失したが、現在の建物は創建当時(飛鳥時代)の様式を忠実に再現しており、貴重な古代の建築様式が今に残る。

20. 細工谷遺跡



難波宮跡の東南に位置する遺跡で、1996年に発掘。全国初の発見となった和同開珎の枝銭は、日本最古の貨幣を製造する過程で使われたもの。「百済尼寺」と記された墨書土器や瓦、金属加工に関連した遺物や7世紀末の通貨富本銭、尼の父の名前を記した木簡など、飛鳥時代から奈良時代を中心とするさまざまな資料が見つかっている。

21. 産湯稲荷神社



産湯稲荷は俗に桃山といわれ、明治39年の頃までには大阪屈指の大桃林があった。境内の北側には「玉之井」と呼ばれる井戸があり、真田の抜穴との伝説が残る。

22.N. 真田山公園



騎兵第四連隊のあった跡に昭和14年(1939)に開設され、園内には真田山プール、アイススケート場、大阪市立真田山野球場、真田山庭球場が設置されている。(昼食場所)

23.O. 玉造日之出通商店街



玉造交差点より南に鶴橋へ向けて長さ470メートルの商店街。砲兵工廠が存在した明治期から戦前には多くの職人や工員が居住し玉造は日之出通商店街を中心に大きく発展した。現在も真田幸村ゆかりの地として「幸村ロード」や真田十勇士のキャラクター等で歴史ファンや観光客で賑わう。

24.P.I. 鵲森宮



聖徳太子創建の神社。社名である鵲森宮(かささぎもりのみや)の由来は推古天皇の時代、聖徳太子の命により新羅に渡った使者が帰国した際に鵲(かささぎ)を二羽献上。この森に飼われた事から「鵲の森」と称え、遂に宮の名となり略して「森之宮」又は「森明神」とも言う事になった。

25.Q.Ⅸ. 豊國神社



豊臣秀吉を祀る神社で秀吉に縁のある各地に存在する。京都東山に鎮座するのは豊国神社(とよくにじんじゃ)。大阪城内に鎮座するのは豊國神社(ほうこくじんじゃ)とされ、豊臣家滅亡と共に徳川家により廃絶されるが、近代に入り、明治天皇により再興された。

Ⅱ. 豊臣秀頼、淀殿自刃の地跡



大坂夏の陣で徳川軍に追い詰められた秀頼、淀殿とその側近30余名が櫓に火を放ち自害したとされる。

Ⅲ. 極楽橋



本丸北端の山里丸と二の丸を結ぶ全長54mの橋。戊辰戦争で消失し、現在の橋は昭和40年に再建された。豊臣時代は豪華絢爛な橋だったことが近年オーストリア・グラーツで発見された「豊臣期大坂図屏風」でも確認できる。

Ⅳ. 青屋門



Ⅷ. 多聞櫓



Ⅴ. 豊臣時代の大坂城跡・三の丸掘跡



平成15年(2003)、大阪府警本部敷地での調査で、L字型に曲がる巨大な堀跡が発見された。石垣のない素掘りの堀で大坂冬の陣の講和後の突貫工事で埋められた事を裏付ける状況証拠も確認されている。

Ⅵ. 豊臣時代の石垣



平成元年(1989)、ドーンセンター建設の折、敷地内から発見された。大坂冬の陣の講和条件として地中深く埋められたが、21mにわたる野面積みの石垣が発見された。近年の研究でこの石垣は京橋口馬出曲輪(うまだしくるわ)のものと判明される。

Ⅶ. 京橋口



猫間川跡



豊臣大坂城は東西・南北とも約2キロの広大な城郭で東側は昭和32年まで存在した猫間川が東惣構えとされた。現在猫間川に関する痕跡がなく、JR環状線玉造駅東方、国道308号線に猫間川に架かっていた石橋の跡が存在する。※今回は猫間川だった道路を約200m北に向けて歩きます。



小学生以下のお子様対象のクイズです！

こどもクイズ

クイズに答えて記念品をゲット!

問題!

現在の大阪城天守閣が歴代で一番長く建っている!〇か × か?

答え

